



故郷と鳥

青木淳

好聞を飛び出してから、香の中に寒夜通く、狐の
に廿餘年も過ぎ、人世の半鳴くのなき、小さな胸を
以上を旅から旅への生活を痛めなものでたつた
朝ままだき、隣りの屋根で
和十年を迎へるに當り、今鳥が啼く事があった。その
更に人世の悔しさを痛感せしむる。
すにあられない。正月を迎へ、また村に死人があるぞと
へるたびに、故郷の正月がとほはいつた。母の言葉通
思はれる。
平の小學校に入つた年の道に念佛の鐘太鼓がきこえ
晩秋、私一家は平から好聞へ、毎の一行をみるのたつた何か
に、移り住むやうになり、毎の一行をみるのたつた何か
日久保町の坂を登り降りし、鳥は不吉な思ひをこ
て小學校に遊んだものでたつた。この京都に
た鳥がゐるのか、十はと
んど見た事もないが、幾年
吹いて電柱がうなつたり、間に加茂川の磯で一羽の鳥
下好聞あたりで大きな風が何れをさつてゐるのを見
ウナリがきこえるのも冬に受けた事が二三回あるでも
しい印象である。湯の岳の眺めはかく目とさます二三
上空が真赤に燃えつた夕暮、回鳥が啼きさつた事のある
山腹にはよい山火事があつて、夜になるとその煙が赤
赤と見え、百足のやうだと
そのころそんな形容をして
みつめたものであつた
私はそんな冬になると、野
しい鳥が、八幡神社の杜や
御台境と好聞の中間の権現
山の森に夕陽をいつばい受
けながら群れたつてゐるの
見たものでたつた。私がふる
さとの冬を懐かしく思ひ出
す。そのころの私の家は村
の北側の小高い丘の中腹に
建てられ、杉林があつて
から風が強くあたる物すこ

潮聲静抄帳

暮るよりのいよ、増し
来ぬ秋出水 翠雨
大波に風の落ちたる夜
寒かな
夜寒の灯さしき輝にお
りてけり
野も山も澄みてけふあ
る類祭忌 放光
秋燕常山の谷にかよふ
なり
明るくて時雨するなり
芒山 州丘子
母と居り秋の夜早く寝
かざる

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山の怪秘

丸山寛雄作
真木浪書

小寒にはいつていよ、
身にしみる寒さ、
こよひは湯タンボをだ
いて寝よう

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ



つて大混戦死者七十七
名、負傷者多数を出す
(同九)

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

『病みて』萩原たけ
〇足なへて幾日経にけむの菊、見ぬ間に霜は
置きまじりつ、
〇もの相、音なく間にしづみ入る、かはたれ
時ぞ憂きかぎりなり
〇ひたぶるに薬師にたよるたまゆらは、まこと
尚われ生さんとすなり
〇すこやかにまかせて無理はしつづけぬ、身は
いとよべし又若からじ
〇身はいとよ時にいたりぬ秋開けて、風なきに
散る木々のわくら葉

山城歌壇

新妻久満夫選
推薦 萩原たけ

自家乗車用家の悩みは消解

雨降らば降り！雪何のその!!!
いつも朗か！平気で走行!!!
特「流線型自轉車」も有り
御使用をお奨め致します。
従来の苦惱：下体の濡汚は：爪先
迄完全防止。強力防水布及鋼鉄の
特製ならば耐久力強大。折り畳め
ば極めて小さく携帯至便。
御通勤に、御通学に、御商用に、
其の他一般輸送家は衛生保健の爲
め、是非一本を！
特許期間中一本六十五圓
送料要十圓
一月二十五日迄(但し遠隔地は
送料要十圓)

石城郡四倉駅前
福島縣總代理店 白川東光舎
平町販賣店 國村自轉車店
才徳小路 電話五三八番
平町北目 矢野自轉車店
大野村 鈴木自轉車店
縣内各地特約店(二縣一店制)
(返送料添附御照會を乞ふ)

ス界の權威 クロイドネオン

ネオンサインの御選擇は何より先づ品質の秀麗
耐久力豊富、就中設備の完備が最重要件であり
ます。クロイドネオンはネオンサインの發明者
佛人ジョルジュ・クロイド博士の特許に依つて
製作されたもので不完全な特許侵害品や模造品
を完備したもので不完全な特許侵害品や模造品
とは自ら其性質を異にして断然他製品の追従を
許さないものであります。
御申込次第最新型御相談に應じます
クロイドネオン代理店
日東商會
電話 四二八

ホシシ薬

景品大賣出

ホシシ薬は正直です
ホシシ薬は正直です
ホシシ薬は正直です

試用瓶	6.5瓦入	.10
卓上瓶	25瓦入	.30
中瓶	50瓦入	.50
大瓶	100瓦入	1.00
特大瓶	300瓦入	7.50

ホシシ薬株式会社
東京・五反田

景品大賣出

一、ホシシ胃腸薬五十圓買上毎に抽籤券一
枚添付、抽籤に依り景品を抽籤
二、抽籤期日 十一月十五日(紀元節)
三、抽籤場所 星製薬株式会社
四、抽籤は一萬口を以て一組とし抽籤番
號は各組共通とす

景品
一等十圓(抽籤券) 五名
二等五圓(抽籤券) 一〇名
三等二圓(抽籤券) 二〇名
四等一圓(抽籤券) 五〇名
五等五〇圓(抽籤券) 一〇名
六等 景品券(抽籤券) 九、八〇名

シチエンスストアにて
六、景品は本社及ホシシエンスストアにて
抽籤券引換に御渡し致します

「東京星製薬株式会社」より景品券は
「シチエンス」にて御買取りの御注意を乞ふ

景品券は景品の抽籤券でありま
す。本社事務部の官用封筒が、
景品券に封入して景品のシチ
エンスストアにて御買取りの御注意を
乞ふ

景品券は景品の抽籤券でありま
す。本社事務部の官用封筒が、
景品券に封入して景品のシチ
エンスストアにて御買取りの御注意を
乞ふ

景品券は景品の抽籤券でありま
す。本社事務部の官用封筒が、
景品券に封入して景品のシチ
エンスストアにて御買取りの御注意を
乞ふ

月曜論壇

湯本と史蹟顯彰
例へば處女の乳房
如くムツリと盛り上つて
快くして柔らかな曲線を見

脂粉の巷湯本町から
鎌倉時代の史實發見

郷土史家諸根棹一氏の近業
州の経路に力め、同三年の参加も歓迎する

施行調査員の
初顔合せ會

十一日部長選任等協議
平町の資源開拓来る十一日午後一時から開

鐘紡工場誘致協議
明八日委員会

平町町長會 来る十一日
平町町長會 来る十一日

地方を潤した事
今日迄七十萬圓

夏井川改修順調に進行
総工費九十七萬圓の巨費人員四十二萬二千五百八十八

惡氣流に妨げられ
小名濱へ不時着

塔乗者機体共無事
同國在郷軍人航空研究部

青年豫言者
腹切澤に難工記念標

小川江改修を後世に遺す
小川江改修第二期工事は工費一萬圓で同村小

平青訓令旨拜戴式
元日をとり第一講堂で

平町青年訓練所では去年元旦且兼稽古は明八日から十日間午前九時から町會議事堂で

贈答品増加
年末年始の

局から見た景氣風
平局に於ける客賑奉昨日

白水阿彌の第二回修理
本堂宇の特別保護建築物に

併しなら風風堂(阿彌)と藤原季世の全盛に成つ
本堂宇の特別保護建築物に

平署寒稽古
平署の

平署の
平署の

謹賀新年
會館フアンの皆々様

新年文藝
「池邊鶴」類賀 裏

謹賀新年
小鍛冶永助

明けては御日出度
花の平は新田町に素人料理

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

解なる運命を看破する、難
病者に無料相談其他諸般
の鑑定に應ずると

村原定田七松本長(三)
妻セキ(三)の兩名は去る昭
和三年十一月頃家出方不

第二校行事一東 来る十
一日より三日間校内に恒例
の新年会を催す

東京市荒川區南千住町八丁
目七六番宮澤清修師は平町
書物展覧會を開き優秀に賞

小川江改修第二期工事は
工費一萬圓で同村小

平町青年訓練所では去年
元旦且兼稽古は明八日

贈答品増加
年末年始の

白水阿彌の第二回修理
本堂宇の特別保護建築物に

平署寒稽古
平署の

謹賀新年
會館フアンの皆々様

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
會館フアンの皆々様

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助

謹賀新年
小鍛冶永助